

千葉県 地域連携のススメ

(地域学校協働活動ボランティアだより)



第33号「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進研修会（県立学校向け）」
「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査結果」
令和8年2月5日 発行：千葉県「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動」推進委員会

2026年も2月に入りました。今年も、子供たちの笑顔がいっそうキラキラと輝きますように…。その有効な手立てとして、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進はおススメです。

地域の未来を担う子供たちの豊かな学びや成長を願い、今年も、地域と学校がパートナーとしてもっともっと連携・協働していきましょう！



CS名誉マイスターから学ぶ CS充実のポイント！

令和7年12月に県立学校の管理職や教職員、CS関係者を対象に実施した研修会では、文部科学省CS推進名誉マイスターの竹原 和泉 氏を講師にお招きしました。

CS 充実のポイントが盛りだくさんだった本研修会から、特に印象的だった部分を抜粋してご紹介します！

「地域だからこそ」

地域だからこそ、本物がある
地域だからこそ、様々な体験ができる
地域だからこそ、失敗できる

学校運営協議会で学校はもっと忙しくなる？

NO！

- ・学校の役割が明確になります
- ・みんなで担うことができます
- ・なかなかできなかった「スクラップ」ができます
- ・後ろ盾ができ、クレームが減ります

学校運営協議会は学校の応援団！

「学校運営協議会の意見として」は、大きな強み、後ろ盾です。これを上手に活用すれば、課題も解決しやすくなり、業務改善も進みます！



一体的推進の成果

学校運営

- 学校運営に多彩な人が参画し責任を持つことができる
 - 問題が起こった時、タイムリーに対処できる
 - 〇か×ではない難しい判断の時、後ろ盾になる
 - 個別最適な学校運営ができ、継続性が高まる
- 教育内容
- 地域ならではのリアルな学びが広がる
 - 「社会に開かれた教育課程」の実現につながる
 - 体験と知識がつながり、学びが深まる
- 学校という場を核に「まちづくり」
- いざ！という時頼りになる信頼関係ができる
 - CSで育つ子どもがまちの未来をつくる

漢方薬

糖床

CSは、漢方薬？ 糖床？

CSは即効薬ではありません。じわじわと改善を促す漢方薬なんですよね。

そして、CSはゴールでもありません。糖床のように、常に手をかけて新しい風を入れて、新鮮さを保ちたい！



※CS 名誉マイスター：コミュニティ・スクール(CS)の導入・推進を全国で支援する専門家

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

令和3年1月26日 中央教育審議会（答申）

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを目指す「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性の一つとして、学校だけではなく地域住民等と連携・協働し、学校と地域が相互にパートナーとして、一体となって子供たちの成長を支えていくことが必要である。

その際、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することが重要である。

参加者からたくさんのご感想をいただきました！

- 今後の方向性のヒントをいただくことができました。
- 他校や、他県の状況を確認できたことはとても良い研修の成果となりました。
- 前身となる組織から移行させたというだけでは形骸化してしまうことを痛感いたしました。積極的に関わり、意見具申いただけるよう、努めてまいります。
- コミュニティ・スクールを理想的な形に持っていければ、学校にとって非常に有難いことだと感じました。
- 熟議を行って、活発な運営協議会を行っていくためには、委員の中に若い力を入れていくことも大切だと感じました。



※さらに詳しく研修会の内容を知りたい方は、ぜひ下記CSサポートセンターまで御連絡ください。

公表されました！

コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査結果

文部科学省の「令和7年度コミュニティ・スクール(CS)及び地域学校協働活動の実施状況に関する全国調査」の結果が公表されました。

千葉県のコミュニティ・スクール導入率は64.2%。地域学校協働本部整備率は78.3%でした。(全校種、千葉市除く)

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入校数

公立学校のCS導入校数

752校 (64.2%) 179校増 15.5ポイント増

※全国：22,009校 (64.9%)

うち、小・中・義務教育学校

592校 (58.5%) 109校増 11.1ポイント増

※全国：19,488校 (71.6%)

地域学校協働本部 導入校数

公立学校の地域学校協働本部整備校数

917校 (78.3%) 67校増 6.1ポイント増

※全国：22,693校 (66.9%)

うち、小・中・義務教育学校

731校 (77.3%) 66校増 7.1ポイント増

※全国：21,083校 (77.4%)

コミュニティ・スクールが広がっています！

今年度、千葉県では 県立学校でコミュニティ・スクール(CS)100%導入を達成しました！さらに、市町村立学校でも多くの学校で CS や地域学校協働本部が導入され、地域と学校の連携がますます進んでいます。これは、関係する皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございます！

御活用ください！「CSサポートセンター」

千葉県教育庁ではCSサポートセンターを設置しております。導入や運営に関するお悩み・不安・疑問等ございましたら、下記まで御連絡ください。お電話での相談はもちろん、自治体様への訪問研修にも対応いたします！



活用の事例

地域学校協働活動推進員が集まって研修会をするんだけど…

文部科学省の最新の情報が知りたい

お電話での御相談にも対応いたします！

学校の先生方に向けて研修会をしたい

千葉県CSアドバイザーや県職員を講師として派遣します！

これからCSの導入を考えているので、関係課で勉強したい

研修会で聞いたこの部分をもっと詳しく！

学びの未来



「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動」についてもっと知りたい方(文部科学省・こども家庭庁合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学びの未来

で検索

【問い合わせ先】 千葉県教育庁 教育振興部 生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 (CSサポートセンター)

TEL:0120-23-1008(統一ダイヤル) メール:kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp